

健康さがみはら



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健康な一年となりますことをお祈り申し上げます。

本年も健康さがみはらは皆さまの健康に役立つテーマを選んでお届けしてまいります。

さて、新年第一回は「高血圧はこうやって診察します！」と「献血について知ろう」をテーマにお届けします。興味のある方が多いのではないのでしょうか。ぜひご一読いただき皆さまの健康増進にお役立てください。

発行 一般社団法人 相模原市医師会



ものみな凍りつく玄冬、富士五湖の一つ西湖畔の芸術村。氷彫像も樹氷も夕日に輝く。蒼空に富士が大きい。

岡部 紀正

相模原市長 加山 俊夫



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、圏央道の相模原インターチェンジ開通や相模総合補給廠の共同使用に関する国及び米軍との協定の締結、リニア中央新幹線の駅設置等を見据えた、橋本駅・相模原駅周辺の一体的な広域交流拠点としてのまちづくりの推進など、本市が大きく発展していく未来を実感した一年でございました。

一方、わが国の情勢は、経済は回復基調にあるものの、海外景気の減速の影響など先行きが不透明であり、少子高齢・人口減少社会への対策や、持続可能な社会保障制度の確立など、大変難しい課題に直面しております。

こうした状況にあるからこそ、市民の皆さまが希望を持ち、夢に向かって力強く前進できる都市づくりを進めることが重要です。引き続き、医療、福祉、子育て支援の充実をはじめ、幅広い分野においてより一層の市民サービスの向上を図ってまいります。

特に、保健医療の分野におきましては、医師会の皆さまのご支援を賜りながら、急病診療事業や各種検診事業、予防接種事業などに積極的に取り組んでおり、今後とも、医師会の皆さまとの連携を深め、地域医療の充実に努めてまいります。

新しい年が、市民の皆さまにとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

一般社団法人 相模原市医師会長 竹村 克二



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は私ども相模原市医師会が1955年3月の設立から創立60周年という節目を迎えました。

相模原市医師会では、この60年間、市民の皆さまの健康を守るべく、行政との連携を図りながら、急病診療事業や各種がん検診、特定健診、予防接種、乳幼児健診、学校保健、在宅ケア対策、訪問看護ステーションの運営、などさまざまな形で地域の保健・医療・福祉に携わり、時代に即した事業を推進してまいりました。

次の節目の10年の間には2019年のラグビーワールドカップ日本大会や2020年の東京オリンピック・パラリンピックなど大きなスポーツイベントの開催が決定しており、これを機にスポーツを通じた健康増進への関心が幅広い世代において高まるものと期待しております。一方で2025年には団塊世代の方々が75歳以上の後期高齢者となられるなど、少子・超高齢化の問題がより一段と切迫しております。

このような社会変化の中で、私ども医師会が地域社会において果たすべき役割もますます重要なものになっていくものと思います。今後も市民の皆さまが健康で安心した生活を送れるよう、健康増進事業の推進に努めてまいります。

今年一年の市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

